

# アムスルだより

No. 101 2010年 1月10日

Akajima Marine Science Laboratory 阿嘉島臨海研究所



〒901-3311 沖縄県島尻郡座間味村字阿嘉179

ホームページもご覧下さい。http://www.amsl.or.jp

TEL:098-987-2304 FAX:098-987-2875 E-mail:amsl@oki-zamami.jp



## 「玉」をつくって海を泳ぐ - ゴンズイの一種 -

新年あけましておめでとうございます。寒かったり暖かかったり、落ち着かない正月です。海水温は 22 をちょっと切ったくらいで、だいたいいつもの年の冷たさで、さすがに海の底でじっとしていると暖かい季節が恋しくなります。今年は寅年でもありますので、今回は待ち遠しい夏に良く見かける黒と黄色のしま模様しま模様の魚の話をしてしましよう。

その魚の名前は、ゴンズイといいます。“トラ柄”という感じではありませんが、黒地の体に、頭から尾びれの向けて黄～白色の筋が 4 本走っています。海にすんでいます。ナマズの仲間、口の周りには長いひげがあり、とても愛きょうのある姿をしています。おまけに小さいうちは、群れをつくってみんなでちょこちょこ泳ぎまわっており、かわいらしくてついつかまえたくなります。けれど、それはやめておいた方が良いでしょう。この魚には、背びれと胸びれに強い毒どくのとげがあり、刺されるととても痛く、場合

によっては死亡することもあると言われています。

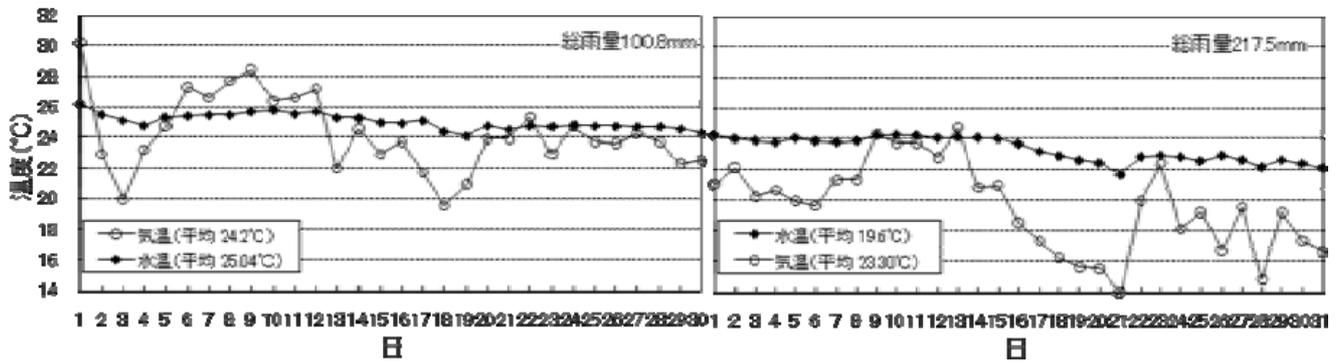
ゴンズイの幼魚（子どもの魚）の群れは、たくさんの魚がみちっと丸く集まるので、「ゴンズイ玉」と呼ばれます。ゴンズイ玉は、海底をすべるようにゆっくりと移動していきます。なにをしているのかじっと見てみると、どうやらゴンズイは海底に口をつけてエサを食べているようです。1匹1匹が、食べてはちょっと海底からはなれ、また下りては食べるをくり返ししながら移動するので、群れ全体が海底をなめているように見えます。以前、じっとサンゴを観察していたら、いつの間にかゴンズイ玉がやってきていて、手や腕のまわりにまとわりついてきました。小さな個体の毒がどのくらい強いのかわかりませんが、どうであれ刺されるのはいやなのでゴンズイをおこらせないようにじっとしていたのですが、ぷつぷつと肌を細かく引っぱられるようなくすぐったい感触で、やっぱりエサをとろうとかじってるんだな、と実感しました。

ゴンズイの幼魚が群れをつくるのは、群れを大きな 1 つの生き物に見せかけて外敵をおどかしているのだらうと思います。また、もしかしたら群れがおそわれても、1匹がやられているうちに逃げたり、やられた 1 匹の毒で敵が苦しんでそれ以上おそわれなくなったりすることもあるかもしれません。ともかく、群れを作る理由の一つは、敵から身を守ることでし

## 定点観測

2009年11月

2009年12月



よう。では、ゴンズイはどういう仕組みで群れをつくるのでしょうか。有名なのは、「集合フェロモン」です。ゴンズイは体から「みんなで集まろう」という化学物質を出していて、それで群れをつくるというのです。言ってみれば、においによってゴンズイ玉をつくっているわけです。たしかに、海の中はいつも明るいわけではなく、岩のすき間や月のない夜などは暗いですから、においをたよりにすれば、そんな時でも仲間と集まることができるでしょう。研究所でむかしゴンズイ玉を飼育していたときに、だんだんと群れがばらばらになってしまったことがあります。もしかしたら、エサ不足などで具合が悪くなり、集合フェロモンをきちんと出したり受け取ったりできなくなったのかもしれない。ただ、先にも書いたように、ゴンズイは黒地に黄色や白の筋のとてはっきりした色をしています。見えないときはともかく、明るい海底ではこの色を見て群れをつくることもできるのではないのでしょうか。このことは、まだ考えているだけではっきりしないので、ぜひ今度の夏には実験をして確かめてみたいと思っています。

さて、これまでずっと‘ゴンズイ’と呼んできましたが、阿嘉島にいる種はゴンズイではないかもしれません。今ごろ何を言っているのかと言われそうですが、実は長い間日本にはゴンズイ 1 種類しか

いないと思われていたのですが、おとし、沖縄など南の海域にはもう 1 つ別の種がいることがわかったのです。そして去年、その種にミナミゴンズイという名前がつけられました。さて、阿嘉島にいるのはゴンズイかミナミゴンズイか、それとも両方いるのか、それもぜひ確かめてみたいと思います。

群れをつくる仕組みや阿嘉島の種類について、何かわかったら、またみなさんにお知らせしたいと思います。ますますあたたかい夏が待ち遠しくなってきました。

### 阿嘉島の海より

昨年の座間味村は水不足に悩まされた一年でした。阿嘉島、慶留間島ではこれまで夜間断水はたまにありましたが、隔日給水にまでなったのはめずらしいことでした。座間味島ではダムの貯水率が上がり、現在でも隔日給水が続いています。水に困まれた座間味村ですが、真水の確保は本当に大変です。今年はたくさんの雨を期待したいものです。

昨年から流行している新型インフルエンザもまだまだ油断できません。村内でもいろいろなイベントが中止になり、学校閉鎖にもなりました。

昨年大変だった分、きっと今年はいい年になってくれるでしょう。

今年も一年よろしくお願いします。

